

適切な監事監査を行うための考え方やポイントを学ぶ -市町村社協監事等研修会-

2月26日(火)に県総合福祉センターで市町村社協監事等研修会を開催し、市町村社協の監事等54名が参加しました。

研修会では、まず本会の経営相談事業専門相談員の立石公認会計士から、社会福祉協議会の会計監査のポイントについて、社会福祉法人会計の特徴、企業や行政会計との違い、決算書の見方などを詳しくご講義いただきました。その後の行政説明では、県社会福祉課指導監査班の出田参事から、社会福祉法人の指導監査について、社会福祉法人の自己点検表を用いながら、定款の変更手続きや理事・評議員・監事の選任解任、理事会・評議員会の招集・運営など、指摘が多い点や注意すべき点をご説明いただきました。



【県社会福祉課 出田参事】



【立石 公認会計士】

参加者からは、「今後の監査に役立てる内容だった」「決算書の見方について理解できてよかった」などの感想が寄せられました。

被災者支援のための連携を強化 -地域支え合いセンター関係機関・団体連絡会議-

2月6日(水)にKKRホテル熊本で「第2回地域支え合いセンター関係機関・団体連絡会議」を開催し、被災者支援に携わる県内の関係機関・団体及び市町村行政や地域支え合いセンターの役職員76名が出席しました。

会議では各機関・団体の熊本地震における取り組みを共有するとともに、地域支え合いセンターと各機関・団体における課題や対応状況等について意見交換を行いました。被災者の生活再建に向けて、多様で複雑化した個別課題への対応が必要となるなかで、専門的視点からの意見やアドバイスを聞くことができ、これからの専門機関や団体との連携について考える機会となりました。



【連絡会議の様子】

今後も、被災者により良い支援を行うため、専門機関・団体との緊密な連携体制の構築に努めていきます。

被災者支援における課題を検討 -地域支え合いセンターと専門職との意見交換会・相談会-

2月13日(水)、KKRホテル熊本で「地域支え合いセンターと専門職との意見交換会・相談会」を専門機関11団体の協力のもとで開催し、地域支え合いセンターの相談員39名が参加しました。この意見交換会・相談会は、被災者の生活再建に向け、地域支え合いセンターだけでは対応が困難なケースも増加するなかで、専門機関・団体と円滑な連携を図り、課題の解決に取り組むことを目的として開催しました。



【医療・福祉ブースの様子】

意見交換会・相談会では医療・福祉、住まい・金融、法律、防犯、ボランティアと5つのブースに別れて意見交換を行い、地域支え合いセンターの相談員が抱える困難ケースや課題に対して専門職がアドバイスするなど、具体的な支援方法の検討を行いました。

参加者からは「このような機会をまた作ってほしい」「専門職の方に市町村に来ていただきたい」などの感想があり、今後、専門職と連携し被災者支援に取り組むための良い契機となりました。

2019年度社会福祉振興基金事業について

2月20日(水)、県総合福祉センターで熊本県社会福祉振興基金運営委員会を開催し、2019年度事業計画等について審議を行い、次の8事業が承認されました。

1	県社協総合情報誌の発行	5	各種大会開催への助成
2	成年後見センター等体制整備事業への助成	6	小規模団体活動支援事業への助成
3	安心生活支援活動推進事業への助成	7	熊本県ボランティア活動推進事業への助成
4	民間福祉団体活動推進事業への助成	8	ボランティアフェスティバル事業

安心生活支援活動推進事業では、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりに向けて市町村社協が行う「住民主体の地域生活支援活動促進事業」「地域福祉活動計画・社協発展強化計画の策定促進事業」「地域の見守り・支え合い活動促進事業」に対して助成を行います。

また、ボランティア活動推進事業では、市町村ボランティアセンターの機能強化を目的とした「生活支援ボランティア養成事業」や「福祉教育推進事業」などに対して助成を行います。

福祉職の人材確保を目指して -福祉のお仕事ミニ面接会-

2月2日(土)に県総合福祉センターで「福祉のお仕事ミニ面接会」を開催し、保育や障がい、高齢分野の12法人に対し、保育士や介護職を目指す方20名が参加しました。求職者は積極的にブースに向かい、事業所の説明を聞くなど、就職に向けて話をしていました。なかには、福祉職に就いたことのない参加者もおられ、熱心に情報収集される姿がありました。また、今回は保育と障がい、高齢の分野合同の面接会ということもあり、複数のブースで面談を受け、就職活動の幅を広げた方もいました。



【ミニ面接会の様子】

ミニ面接会後には、施設見学や再面接を希望した方や、採用に繋がったという嬉しい報告もありました。

福祉の仕事の疑問にお答えします。 -福祉の仕事入門セミナー-



【福祉の仕事入門セミナーの様子】

2月15日(金)に県総合福祉センター、2月16日(土)に熊本市健軍文化ホール、2月23日(土)に熊本市城南公民館で「福祉の仕事入門セミナー」を開催しました。このセミナーは、「経験や資格がなくても働くことができるだろうか」「どのような仕事だろうか」などの疑問や不安を持っている方に情報を提供することを目的としており、28名が参加しました。

セミナーでは専門家による講義「福祉の職場に求められる人材」、施設の職員による講話「福祉の職場の現状とやりがい」、福祉・人材研修センターから「福祉の仕事・職場について」の説明などがあり、参加者は熱心に聞き入っていました。

地域みんなで見守る -みんなで見守りin合志(見守り模擬訓練)-

2月20日(水)、合志市総合センターヴィーブルで、「みんなで見守り in 合志(見守り模擬訓練事業)」が開催され、県内の民生委員児童委員など約400名が参加されました。

見守り模擬訓練は、民生委員児童委員と関係機関、民間事業者等が協力・連携して、要援護世帯や子どもの安全等の見守り活動に取り組むことで地域福祉の向上を目的とする「熊本見守り応援隊」協定に基づき平成23年度から開催されています。

模擬訓練では、合志市福祉課と合志市社協から見守り活動の紹介のあと、民生委員児童委員の皆さんによる高齢者の消費者トラブルへの対応や児童の登下校時の見守りなど、日頃の活動を事例とした創作劇が行われました。



【創作劇の様子】

各課トピックス

* お問い合わせは、県社協各課まで

総務課	地域福祉課
TEL 096-324-5454 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5470 / FAX 096-355-5440
<p>◆第4回理事会、第3回評議員会のご案内◆</p> <p>○第4回理事会 3月18日(月) 16:00～ ホテル熊本テルサ 2階「ひばり」</p> <p>○第3回評議員会 3月26日(火) 13:30～ 県総合福祉センター5階「研修ホール」</p> <p>【内容】平成30年度補正予算 平成31年度事業計画、収支予算等</p>	<p>◆平成31年度全国研修事業◆(地域福祉関連・日程確定分のみ)</p> <p>○社協活動全国会議 8月29日～30日 東京都</p> <p>○生活支援コーディネーター研究協議会 10月22日 東京都</p> <p>○支え合いをひろげる住民主体の生活支援フォーラム 12月23日 東京都</p> <p>○ボランティア全国フォーラム 12月14日～15日 東京都</p> <p>○社協経営基盤強化セミナー 2月25日～26日 東京都</p>
施設福祉課	民生課
TEL 096-324-5462 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5475 / FAX 096-355-5440
<p>◆ソウェルクラブへの新規会員募集のご案内◆</p> <p>(社福)福利厚生センター(ソウェルクラブ)の平成31年度の新規会員を募集しています。有料老人ホームや医療系の介護保険施設・事業所などの社会福祉事業以外の介護保険事業所も加入対象となっています。ご加入いただくと、グルメイベントやスポーツ観戦、国内ツアーなどの会員交流事業に低価格で参加でき、職員のリフレッシュや親睦など福利厚生の充実にお役立ていただけます。</p> <p>サービスの詳細や新規加入につきましては、施設福祉課までお問い合わせください。</p>	<p>◆教育支援資金(教育支援費)貸付のご案内◆</p> <p>平成31年度に入学予定の方の学費等、月々必要な費用を対象とする教育支援資金(教育支援費)の貸付については、2月1日(金)から受付を開始しています。</p> <p>なお、本資金の借入申込みと併せて、日本学生支援機構(第1種)等他の奨学金の申込みをお願いします。</p> <p>また、入学後の借入申込みは、市町村社協受付月以降分が貸付対象となります。</p> <p>※就学支度費の受付は、3月15日(金)本会到着分までです。</p>
福祉人材・研修センター	地域福祉権利擁護センター
TEL 096-322-8077 / FAX 096-324-5464	TEL 096-324-5474 / FAX 096-324-5456
<p>◆2019年度社会福祉従事者研修事業のご案内◆</p> <p>今年度も、生涯研修4課程と課題別研修14コースに多くの参加をいただき、無事に終了することができました。</p> <p>来年度は、生涯研修4課程と、新規研修を加えた課題別研修15コースを実施しますので、職員の方々の資質向上の一助としてご活用ください。</p> <p>研修事業概要につきましては、3月下旬に各事業所へ送付予定です。</p>	<p>◆利用状況のお知らせ◆</p> <p>平成31年1月末現在、762人(熊本市を除く)の方が、地域福祉権利擁護事業を利用されています。</p> <p>その内訳は、認知症高齢者が307名(40%)、知的障がい者が219名(29%)、精神障がい者が216名(28%)、その他が20名(3%)となっています。</p> <p>また、平成30年4月から平成31年1月までの契約締結件数は、145件(熊本市を除く)で県内全ての市町村で本事業が実施されています。</p>
ボランティアセンター	よかボス宣言
TEL 096-324-5436 / FAX 096-324-5427	
<p>◆ボランティア活動保険のご案内◆</p> <p>ボランティア活動中のケガや損害賠償責任を補償するボランティア活動保険の2019年度分加入申込み受付を開始しています。</p> <p>加入は、お住まいの市町村の社会福祉協議会で申込みできます。</p> <p>2019年度の保険料や補償内容等の詳細は、本会ホームページでご確認ください。</p>	<p>◆「よかボス企業」に登録しました◆</p> <p>よかボス企業とは、自ら仕事と生活の充実に取り組むとともに、共に働く職員の仕事や結婚、子育て、介護等、生活の充実に応援するボス(企業の代表者等)がいる企業のことです。(熊本県の取組み)</p> <p>本会としても、今後、「よかボス」の理念を熊本県内の福祉分野に浸透させ、働きやすい環境づくりを進めることができるよう努めていきます。</p>

